

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: R7年 12月 20日

配布数 29世帯 / 回収 16世帯

事業所名: 土居ルーム

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	8			16				継続して集団活動や個別対応ができるスペースを確保して参ります。
	2 職員の適切な配置	8			12	2		2	県の指定基準に適合しておりますので継続いたします。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	8			15	1			これからも特性に応じた設備整備を行って参ります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	8			16				今後も、心地よく利用してもらえるような生活空間の維持に努めて参ります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	5	3						今後も継続して参ります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	4	4						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	8							今後も研修・訓練に積極的に参加して参ります。
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	8			16				ひらりのHPに記載しております。
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	8			16				今後も児童発達支援管理責任者を中心に定期的にアセスメントを行い、その状況を踏まえ計画を立てて参ります。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	8			16				今後も継続して参ります。
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	8							今後も継続して参ります。
適切な支援の提供(続き)	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	7	1		16				今後も支援計画を意識し、児童に合わせた支援を心掛けて参ります。
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	5	3						多職種で意見を交換し、新たなプログラム立案に努めて参ります。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	4	4		16				活動を通して、児童が様々な経験ができるよう、計画・工夫をして参ります。
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	6	2						療育を意識した関わりやレクリエーション・プログラムを提供して参ります。
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	2	6						今後も引き続き、支援に関して共通認識を持てるよう全職員の確認徹底に努めて参ります。
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	4	4						重要事項の共有漏れのないよう、全体周知を徹底して参ります。
	11 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	8							今後も継続して参ります。
	12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	8							モニタリングや保護者様へのアンケート等を基に、必要であれば支援内容の見直しを行って参ります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	8			児童発達管理責任者が適宜参加させていただいております。					今後も児童発達支援管理責任者が参加させていただきま
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施									
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備									
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	6	1	1	支援会議等で情報共有を行っております。					今後も支援会議等の参加や、電話連絡などによる情報共有に努めて参ります。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	7	1		移行の際は、児童発達支援管理責任者より情報共有をさせていただいております。					今後も必要に応じて対応して参ります。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	5	3		知識を深めるための研修会に積極的に参加しております。					今後も定期的な放デイ会や研修に参加し、専門機関と連携して参ります。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	1	7			8			7	子供同士が交流を持てるイベントを検討して参ります。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	7	1		福祉フェスティバルへの参加やeスポーツ大会を開催いたしました。R7.11月には感謝祭を開催し多くの方と交流を持つことができました。					今後も地域交流の為の様々なイベントを検討して参ります。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	8			契約時にご説明させていただいております。	16				今後も継続して参ります。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	8			利用開始時、更新時には面談等にてご説明させていただいております。	16				今後も継続して参ります。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	2	5	1	面談時、必要に応じて実施しております。	13	2		1	必要時適切に対応できるよう努めて参ります。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	8			連絡帳やひらりLINEを通して保護者様とやり取りをしたり、送迎時に活動内容や本人の様子を伝え情報共有しております。	14	1	1		ご意見ありがとうございます。トラブルに関しては、連絡等を含め迅速な対応を行うよう努めて参ります。日々の情報に関してはひらりLINEを活用し、保護者様との共通理解を図って参ります。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	8			保護者様からのご相談に関しては随時受け付けており、電話や連絡帳、ひらりLINE、面談などで対応しております。	14	2			保護者様からのご相談があった際は、適切な助言を行うよう努めて参ります。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	1	6	1	R7.3月に参観日を実施いたしました。	7	2	2	5	定期的な参観日を行えるよう計画を立てて参ります。その他保護者様同士の交流が持てる場を検討して参ります。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	8			速やかに対応し、再発防止に努めております。	13	1	1	1	保護者様に対して迅速な対応を行うよう努めて参ります。
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	8			プログラムの流れや要求・伝達等に絵カードやスケジュールボードなどを活用しております。	14	2			常に最善方法を職員間で考慮して参ります。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	8			イベント後には必ず、ひらりLINEを通してその日の様子を写真添付し発信しております。ひらり通信やSNS、予定表により、イベント案内をさせていただいてい	14		1	1	定期的なひらり通信の発行や毎月の予定表、HP・SNSにて発信を継続して参ります。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	8			個人情報記載ファイルは事業所に保管しております。職員間でも十分に気を付けるよう徹底しております。	15	1			今後も書類保管やデータ管理など情報の漏えいがないよう十分気を付けて参ります。
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	8			マニュアルをひらり内に掲載しております。	15			1	指針等はHPより閲覧可能としております。

区分		チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点		はい	どちらとも いえない		いいえ	わからない
非常時等の 対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	8			規定に添い、年2回の防災避難訓練を実施しております。	14	1		1		事業所では災害に備えた訓練を行っております。災害時、保護者様への状況報告が早急にできるよう、緊急連絡先の把握をしております。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	8			契約時や保護者様との面談時に健康状態を確認し、その他アレルギーも確認しております。						必要時には適切に対応して参ります。
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	4	4		現在は指示書が必要な児童はおりません。						必要時には適切に対応して参ります。
	5	安全管理の徹底	8			改善等が必要な場合はマニュアルを見直し、周知し、スムーズに行動できるようにしております。	14	2				職員間で、委員会での決定事項の周知・共有、マニュアルの見直し等を行い、常時、確認できるよう事業所内に掲示しております。
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	7	1		避難訓練を実施した際は、ひらりLINEにて保護者様に伝えております。	14	1		1		今後も保護様へのご連絡などを周知・確認していただけるようひらりLINE等、活用して参ります。
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	8			ヒヤリハットの記録を作成しており、事業所間で共有しております。						今後も管理者会にて事例報告を事業所間で共有して参ります。
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	8			必須研修として取り組んでおります。						虐待防止委員会にて、研修やチェックリスト確認を継続して参ります。
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	7	1		現在、身体拘束が必要な利用児はおりませんが、身体拘束時の必要段階手続きは、理解しております。						必要時には保護者様の十分な理解をいただきます。サービス計画への記載も致します。